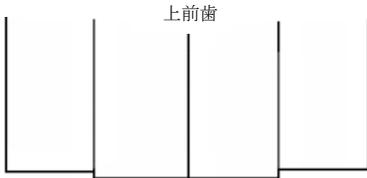


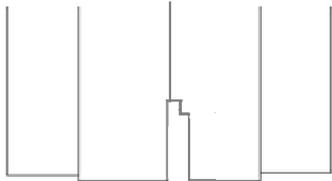
トロンボーンと歯 ②

(2) 上前歯長い2本を削る (削る前に虫歯にならないことを確認した。)



前歯を削ると息が無理なくマウスピースに入り、その違いに驚いた。
息の方向が定まらず高音が出たり出なかったりした。
半年位この状態で練習をした。

(3) 息の流れには出口が必要と考えた。
歯の下から1/3位を削った。

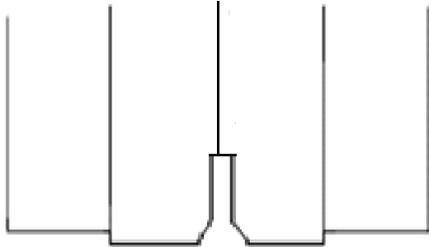


マウスピースに入る息の方向が変わり、どのようにしたら音が出るか戸惑った。
20年以上訓練し唇が根底から覆った。
歯の重要性は確認できたが、高音を出すのがつらく、成果は出なかった。

効率良く音を出そうとすると、教則本に近いアンブシャーになった。
2カ月位練習しても前のように鳴らないので、思いつきでトランペットのベルの形が良いと考え、歯の下を広げた。

(実験を重ねてわかったことだが、唇が変化するには最低3か月位はかかる。)

(4) トランペットのベルのように、隙間の下方を広げた。



隙間の凸凹を平らにして、下を広げた。

音のバランスは相変わらず悪く、削る前とほぼ同じ。

削ったら元には戻らないので、トロンボーンを吹けなくなるかと心配だった。

歯の形は宝探し！

次回は歯茎まで削った報告です。